


げんでんつるが

特別号
2015年3月
第38号

敦賀発電所で原子力総合防災訓練を実施しました。


平成27年3月4日に敦賀発電所において、原子力総合防災訓練を行いました。今回はより実践的な訓練とするため、参加者に想定した事象を知らせないスラインド訓練を行い、発電所と対外組織が連携を図りながら、災害対策本部の指揮による事故の収束を行いました。今後とも継続的に訓練を実施し、さらなる安全確保を目指してまいります。



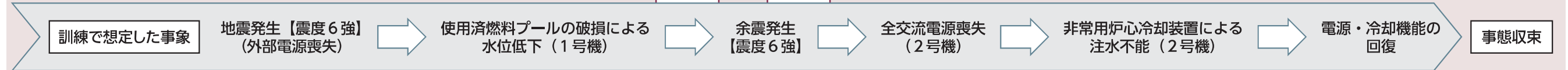


敦賀発電所 災害対策本部

- 災害対策本部長 (発電所長) は、対外組織と連携を図り、対応方針を決定
- 事故の状況を迅速かつ的確に判断し、現場に適切な指示
 - 電源車による電源の供給
 - 消防車、大容量ポンプ車による原子炉等への冷却水の確保



報告 ← 指示



現地での活動







消防車を使って燃料プールに注水
電源車に供給用ケーブルを接続
大容量ポンプ車から冷却水を注水
送水ホースのつなぎ込み
専用配管への接続

地域の皆様から寄せられたご質問にお答えします

Q. 事故発生時の通報連絡は、どのようになっているのですか？

A. 事故発生時における通報連絡は、夜間・休日を問わず、待機している通報連絡要員が国や自治体に電話やファックスで行います。また、災害対策本部から関係機関等に対し、事故事象の進展状況のほか、モニタリングポストの周辺環境の放射線量などについても、タイムリーに連絡を行います。
 なお、通報連絡を確実にを行うための手段として、衛星電話を配備しています。



緊急時に発電所内外と通信を行う衛星電話用のアンテナ
 (緊急時対策室建屋の屋上に設置)



関係機関への通報連絡の様子



発電所周辺に配備しているモニタリングポスト

敦賀発電所1号機の運転停止について

当社は、3月17日に、敦賀発電所1号機の運転停止を決定し、その旨を福井県知事ならびに敦賀市長にご報告しました。

敦賀発電所1号機は、平成23年1月に第33回定期検査に伴い停止した以降も、安全対策を図りつつ再稼働に向けた検討を進めてきました。しかしながら、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ大きく見直された規制基準に適合させることは、技術的には可能であると考えられるものの、予定していなかった大規模な追加設備投資と長期にわたる工事が必要であり、また、今般、原子炉の廃止を円滑に進めるための会計関連制度措置が成立したことなどを総合的に勘案し、運転停止を判断しました。

日本初の商業用軽水炉として昭和45年3月14日に営業運転を開始して以来、約45年間の長きにわたり、地元の皆様のご支援ご理解のもと運転できたことを心からお礼申し上げます。

今後も廃止措置工事を含めた発電所の運営につきまして、安全を最優先に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【敦賀発電所1号機の概要】

炉 型	沸騰水型軽水炉
電気出力	35.7万キロワット
営業運転開始日	昭和45年3月14日
メーカー	GE (ゼネラルエレクトリック社)



入場無料

芝生の広場ではアスレチックやバトミントン、
 グランドゴルフなどをお楽しみいただけます！

敦賀原子力館のご案内



スライムづくりの様子

原子力館では、原子力発電のしくみを、パネルやVTRなどでわかりやすく紹介しています。また楽しい実験や工作を行っておりますので、ご家族やお友達とぜひお越しください！

敦賀原子力館

- ・所在地：敦賀市明神町
- ・電話：0120-44-9006
- ・開館時間：9時～16時30分
- ・休館日：火曜日（祝日の場合は翌平日）
 年末年始（12月29日～1月3日）



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時～17時)

敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページに掲載しています。(http://www.japc.co.jp)